

会長（八ッ田浩一）の横顔

平成 21 年 4 月 1 日



- 昭和 32 年深谷市役所に入社 小島欽一先生・佐藤先輩の指示で深商 OB・深谷クラブの 2 チームで深谷市蹴球連盟創立の事務を行う。
- 昭和 33 年 5 月 19 日 深谷市体育協会に加盟が承認される。
当初は事務局を深谷商業高校に位置し佐藤理事長(学校事務長)が事務を司りその補佐を行う。
- 昭和 45・46 年小島欽一会長・佐藤理事長の指示で市内各会社のサッカー部に呼掛けを行う。
(協力チームは深谷クラブ・深商 OB・東芝サッカーチーム・スカイアルミサッカーチーム・日東電工サッカーチーム・サンウェブサッカーチーム等)
- 昭和 45 年 4 月 職場に監督兼務で深谷市役所サッカーチームを結成する。
一方各方面にチーム造りを働きかける。
- 昭和 47 年 4 月 連盟事務所を深谷市役所内に変更し事務局を司る
同年 4 月～50 年 3 月 東京ワックス サッカーチーム結成を監督を受諾する。
- 昭和 51 年 4 月 スポーツ少年団がサッカー 2 チーム・野球 3 チーム・少林寺・等 6 団体に発足される。
- 昭和 52～56 年 高田宏之体育課長補佐(スポーツ少年団事務局)と市内各小学校にサッカーチームを創ってくださるよう働きかけ全 12 校に少年サッカーチームを結成し連盟の底辺を確立する。
市役所サッカーチーム選手を各スポーツ少年団に派遣し、指導者としての育成を図る。
- 昭和 52 年 4 月 桜ヶ丘小学校に母集団なしのサッカーチームを結成し、監督として采配を行う。
- 昭和 54 年 3 月 桜ヶ丘サッカーチーム監督を辞す。
- 昭和 54 年 4 月 上柴西小学校が開校、併せて学校の協力を得て 1 年生～6 年生全校児童対象として自費でスポーツ少年団を結成する。兼ねて監督を行う。兼ねて監督を行う。
- 昭和 55 年 兼ねてスポーツ少年団副本部長(サッカー専門委員長)として又国際交流委員長として西ドイツのスポーツ少年団との交流を行う。
- 昭和 59 年 3 月 上柴西サッカースポーツ少年団監督を辞す。
- 昭和 60 年 3 月 スポーツ少年団の公職を辞し、連盟一本に絞る。
- 昭和 64 年 サッカー連盟副会長となる。
- 平成 20 年 11 月 3 日 深谷市サッカー連盟創立 50 周年記念 式典委員長を司る。
- 平成 21 年 4 月 連盟会長に就任。